

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

2023年12月14日

## 2022年 JNTO 国際会議統計

### ～年間開催件数は553件、水際措置緩和後大きく回復へ～

- 2022年に日本で開催された国際会議\*<sup>1</sup>の開催件数は、前年比19.1倍の553件となった。参加者総数は、前年比5.9倍の325,752人（うち外国人参加者数33,787人）で、コロナ禍からの着実な回復を見せた。なお、2019年比では、開催件数は84.7%減、参加者総数が83.7%減となった。
- 月別では、2022年3月の水際措置の見直し以降、対面開催による国際会議が徐々に増加しており、さらに水際措置が緩和された2022年10月の会議件数は2020年2月以来2年8カ月ぶりに100件を超え、その後12月までの3カ月間で319件と年間の57.7%を占めた。
- 規模別では、中・大型国際会議\*<sup>2</sup>は全体の15.2%にあたる84件開催され、外国人参加者数は20,918人で、全会議における外国人参加者数の6割以上を占めた。
- 開催形態については、対面とオンラインを併用するハイブリッド形式で開催された国際会議件数は420件で、全体の75.9%を占めた。
- 2023年4月末に水際措置が撤廃されたことを受け、今後も国際会議の開催件数の増加が見込まれる。さらに、2023年5月に決定された「新時代のインバウンド拡大アクションプラン」において、日本における国際会議の新たな目標が明記されたことを踏まえ、JNTOでは国際会議の日本開催に向けた誘致活動を強化していく。

#### \*<sup>1</sup> JNTO 国際会議統計における国際会議の選定基準

- ①主催者： 国際機関・国際団体（各国支部を含む）又は国家機関・国内団体  
（「公共色を帯びていない民間企業」以外は全て対象）
- ②参加者総数： 50人以上
- ③参加国数： 日本を含む3居住国・地域以上
- ④開催期間： 1日以上

#### \*<sup>2</sup> 中・大型国際会議

国際会議のうち、外国人参加者数50人以上、および、参加者総数300人以上のもの

※ 「2022年 JNTO 国際会議統計」は下記リンクに2023年12月18日までに掲載予定。

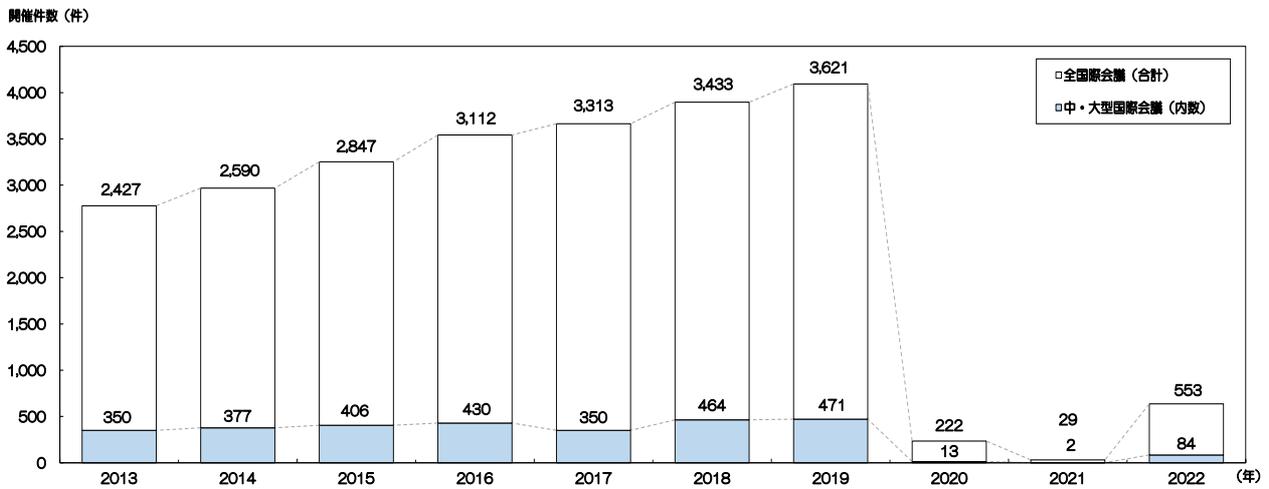
<https://mice.jnto.go.jp/document/statistics.html>

#### 【お問い合わせ先】

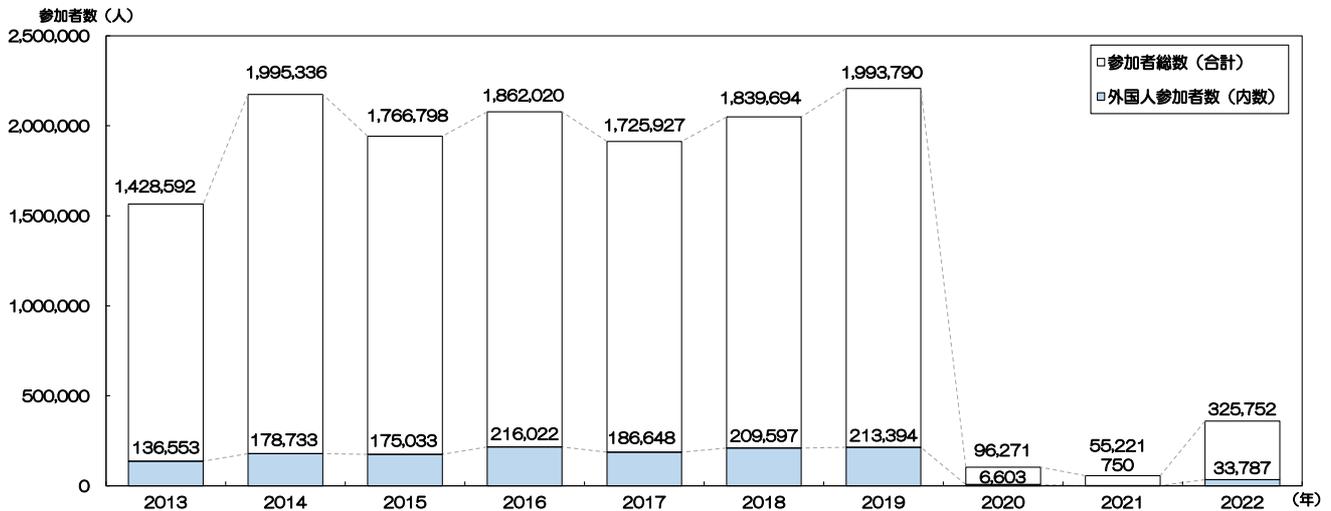
企画総室 調査・マーケティング統括グループ 伊藤・小畑・中川・福増

TEL : 03-5369-6020 E-MAIL : [survey@jnto.go.jp](mailto:survey@jnto.go.jp)

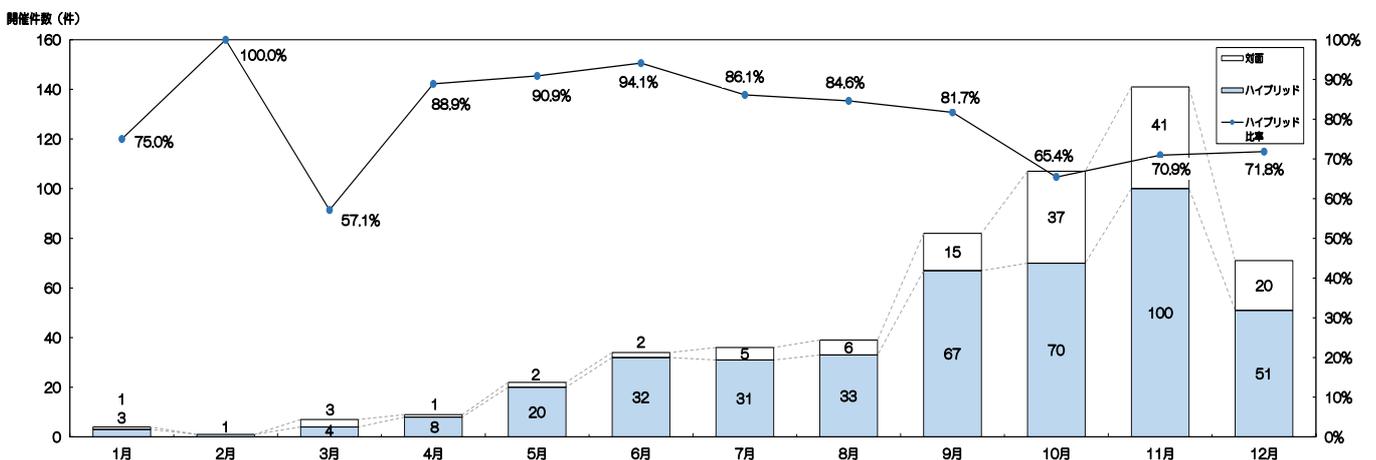
図表1 日本の国際会議開催件数 (2013年~2022年)



図表2 日本の国際会議の参加者数 及び 外国人参加者数 (2013年~2022年)



図表3 月別開催件数 及び ハイブリッド比率 (2022年)



〔図表3〕 注：国際会議が月をまたがって開催されている場合、開催日数が多い月に計上した。また、この場合、開催日が前の月と後の月で同数であれば前の月に計上した。